

■2023 年度 事業計画 トライⅡ（生活介護）

はじめに	<p>コロナ禍になり 3 年が経過し、一部戻りつつある行事や習慣もありますがトライⅡでの活動内容としても少人数で活動したり長時間の密集を避けての行動を選択する傾向が続いています。</p> <p>年間を通してのリズムも大きなイベントがない状況に、職員も利用者さんも慣れてきている状態もあります。「仕方ないよね」と言い合いながらお互いに一生懸命順応してきた 3 年間です。</p> <p>新年度に向けては、コロナ対策関連で緩和されてくる事柄について事業所としても対応していきながら、前進できる一年となるよう利用者さんとスタッフとで活動して行けたらと考えています。</p>
事業所の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジします。(作業や活動内容の工夫) ・必要とされることが実感できる仲間同士の関係作りに努めます。 ・感染状況を見極めながら地域や社会との関わりを持ちます。 ・個別支援計画に基づいた支援を実施します。 ・個々の意思を尊重し、主体性が持てるようにします。 ・利用者、ご家族が相談しやすい関係を作ります。 ・障害福祉に関わる制度を学び、情報提供をし、行動します。 ・安心・安全・楽しい場所を目指します。
事業所運営	<ul style="list-style-type: none"> ・注文状況や在庫により日々の予定を決定します。(クッキー作り、外販売、買い物、配達など) ・調理実習(月 2 回木曜) エアロビ(講師:渡辺氏コロナ禍で実施できていません) 絵画教室(講師:倉田氏/月 1)・看護師訪問(岩元氏/月 1)・実習生受け入れ・職員会議・職員研修・関係機関、団体との連携・健康診断・苦情解決委員会 <p>※エアロビに関してはコロナの状況を見て判断します。</p>
利用者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキー作りを仕事の基盤として取り組みます。 ・配達や買い物も大切な仕事として取り組みます。 ・クッキー作り以外の活動(プリント・行事・季節行事・体操)にも積極的に取り組みます。 ・販売や配達などを通して社会とのつながりを意識した取り組みをします。 ・健康で安定的な過ごし方を考え、可能な範囲で過ごす場所を 2 階、3 階等で分けて過ごします。 <p>※上記 4 点を通して、個々の支援を実施し、生活をより豊かにするための支援を行ないます。</p>
今年度重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に過ごせる事や、見通しのつかない状況の中で、利用者さんが少しでも安心や、楽しいと感じられたり、やりがいを感じられたりする事業所運営を心掛けたいです。 ・通所が難しくなっている利用者さんとの関係を途切れさせないよう連絡を取っていきます。 ・既存の作業や過ごし方にプラスできる取り組みを模索します。 ・利用者さんの生活環境より知られるよう取り組みます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・従来同様、利用者さんをありのまま受け止めることに努めながら、客観的な立場から必要だと思われる取り組みについても、検討し試行していきます。
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事（クッキー作り） ・行事への参加。（ふれあい交流会・運動会・みかん狩り他） ・季節を意識した行事の実施。（七夕・クリスマスなど） ・地域の祭りへの参加。（とうろう祭り）※開催があれば ・日帰り旅行の実施。※可能であれば
作業・販売計画 (豊かな生活)	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキー作り ・従来の販売が継続される限り参加していく。季節・気候・コロナの感染状況を見極めながら、お店の前での販売も実施していきます。 ※上記を通して、安定した工賃の確保及び、上昇を目指し、利用者さんの生活に役立てばよいと思います。
その他 ・防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・従来通り避難訓練を実施していくと共に、「171」緊急時伝言ダイヤルの使い方をご家族とも共有します。 ・防災グッズ、特に食べ物・水の点検と、消費期限を管理して使用、試食などを実施します。
利用者の 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・男性 7 名・女性 4 名 24 歳～63 歳 ・グループホーム居住者 3 名（男 2 女 1） <p>2022 年度はグループホームの利用を始めた F さんが、グループホーム側が対応困難と判断して 8 月に退所となりました。もう一名グループホームの入居を模索していた H さんは 7 月から半年以上の長期の入院になり退院後の生活形態を模索中です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ利用者 1 名 <p>コロナ禍で大きな行事がなく計画を楽しみにしたり、行事の時やその後に楽しみや出来事を共有したりする場面が無くなり、それに慣れてきてしまっている状況があります。一生懸命順応した結果でもあるとはおもいますが、少なからず弊害もあるように思います。例えば、クッキー作りなどの活動へのモチベーションも保ち難くなっているようにも思います。そんな中でも仲間同士や職員との関わりの中で、時には大量のクッキーを作ったり緊急的な閉所や、個人個人での自宅静養機関などを乗り越えながら一年を過ごせたのではないかと思います。</p>
職員の 状況	<p>常勤職員：2 名（男性）</p> <p>非常勤職員 2 名（女性）※曜日により変動。</p> <p>パート職員 2 名（女性）※曜日により変動。</p>

※10.5ポイント、明朝体、ですます調で統一。